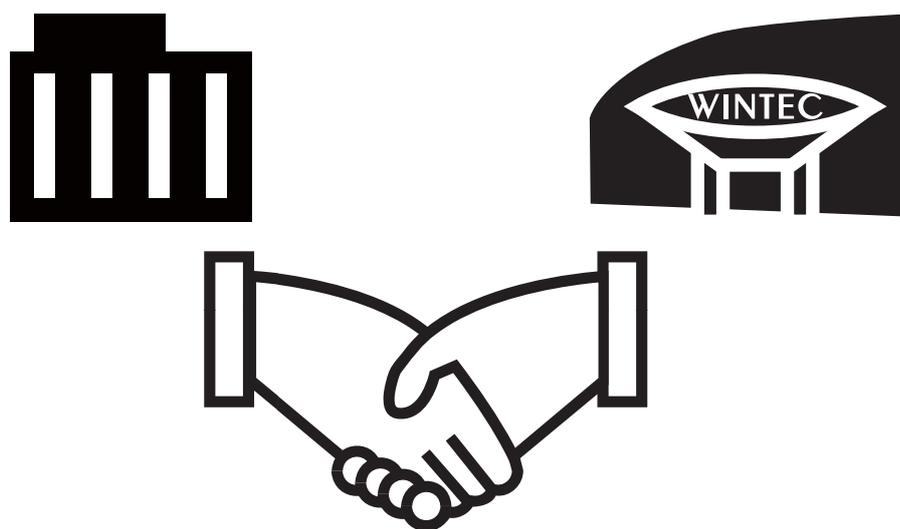


和歌山県工業技術センター

ご利用の手引き



平成 25 年度

和歌山県工業技術センター 

INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER OF WAKAYAMA PREFECTURE

目 次

1. ご挨拶	1
2. 業務概要	2
3. 組織	3
4. 職員の所属	4
5. 受託試験	5
6. 受託試験 項目と手数料	7
7. 設備機器の貸付	12
8. 技術相談、技術指導、デザイン相談	16
9. 共同研究、技術移転促進活動	16
10. 受託研究	17
試験研究委託申請書	18
11. 研究生・研修生の受入	19
研究生・研修生の受入申請書	20
12. いきいき研究スタッフ派遣	21
研究スタッフ派遣依頼書	22
13. 建物配置図	23

1. ご挨拶

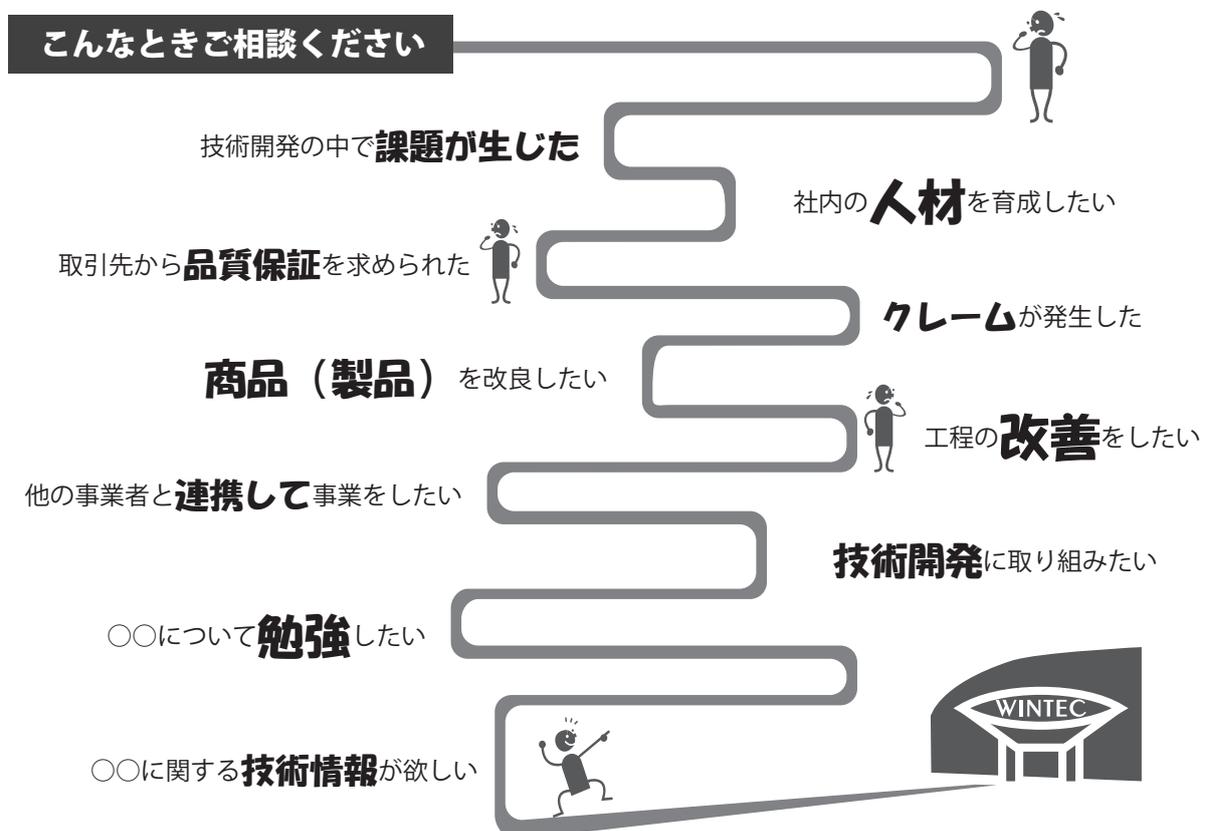
和歌山県工業技術センター 所長

工業技術センターは、設立以来、中小企業の皆様が今困っていることや、将来の発展のために必要な技術開発等、様々な技術分野でお手伝いをさせて頂いて参りました。

工業技術センターでの業務の原点は、企業の皆様のニーズにあります。潜在的なニーズ、顕在的なニーズを如何に的確に把握できるかが、工業技術センターの業務の鍵になると考えております。

企業の皆様が今困っていることに対しましては、技術相談、受託試験や受託研究などにより対応し、将来の発展のために必要な技術開発に対しましては、所内研究や産学官による共同研究などにより地域産業に役立つ成果を目指して取り組んでおります。

平成 22 年度から始まった「和歌山県工業技術センター第 2 期中期経営計画（平成 22 ～ 26 年度）」の最大の目標は、県内企業の皆様に対するサービスの質の向上であります。この目標の達成に向けて、私たちは懸命に業務に取り組んで参ります。



2. 業 務 概 要

工業技術センターは、様々な技術で地域産業をバックアップします。進展する技術革新に対応した、地域の中核的研究施設として、県内企業の技術力、研究開発力の向上のため、総合的な研究開発、受託試験、技術相談・指導、技術研修、技術情報の提供などの業務を行っています。

研究開発

地域産業の技術向上に直接役立つ研究を行っています。取得した県有特許は企業に通常実施権を許諾します。県単独事業の他に国庫補助、国からの委託研究を行なっています。

- 所内研究：近い将来必要となる技術について、県費で独自に研究を進めています。
- 受託研究：企業からの要望に応じて研究を受託しています。
- 産学官共同研究：企業や大学、独立行政法人産業技術総合研究所等と共同で研究を行っています。

受託試験（有料）

企業からの依頼に基づき、JIS 規格、その他の試験・分析を行います。来所による試料の持ち込みや申請が原則ですが、郵送でも受け付けています。

* 「和歌山県使用料及び手数料条例」により定められた料金を納付していただきます。（「受託試験 項目と手数料」参照）

設備機器の貸付（有料）

設備機器の貸付を行っています。

* 「和歌山県工業技術センター機器貸付要綱」で定められた料金を納付していただきます。（「設備機器の貸付」参照）

技術相談・指導（無料）

技術的課題の解決のため、当センターの研究員が無料で相談・指導に応じます。

技術研修（有料）

研究能力向上のため、企業等から研修生を受け入れています。

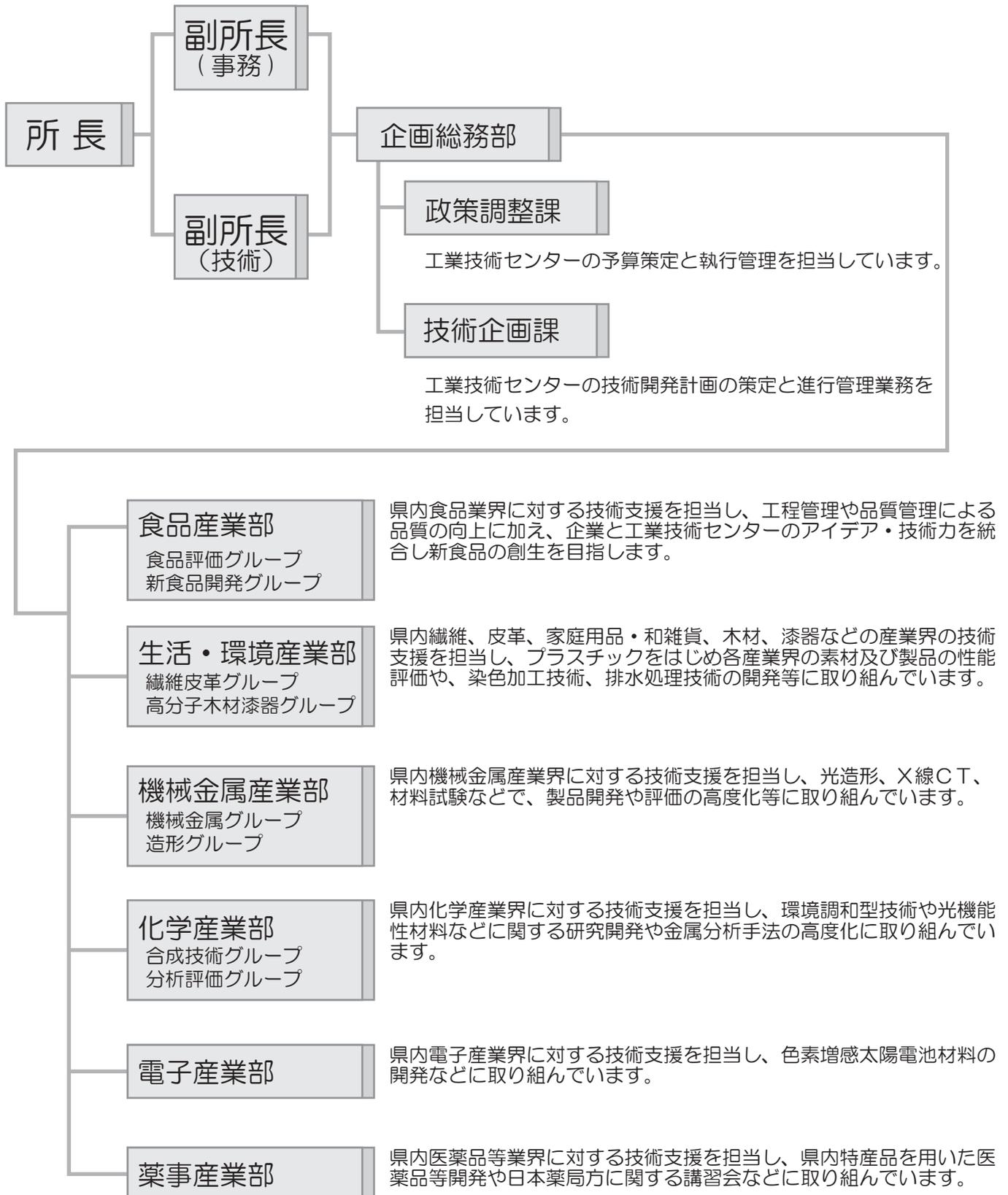
* 研修にかかる消耗品等は実費負担です。

技術情報の提供（無料）

技術情報誌、研究報告を発行（ホームページにも掲示）しています。成果普及に関する発表会・講習会等を開催します。

わかやま産業振興財団と協力して、専門技術研究会等を開催します。また図書、雑誌の閲覧もできます。

3. 組 織



4. 職員の所属及び専門分野

平成25年4月1日

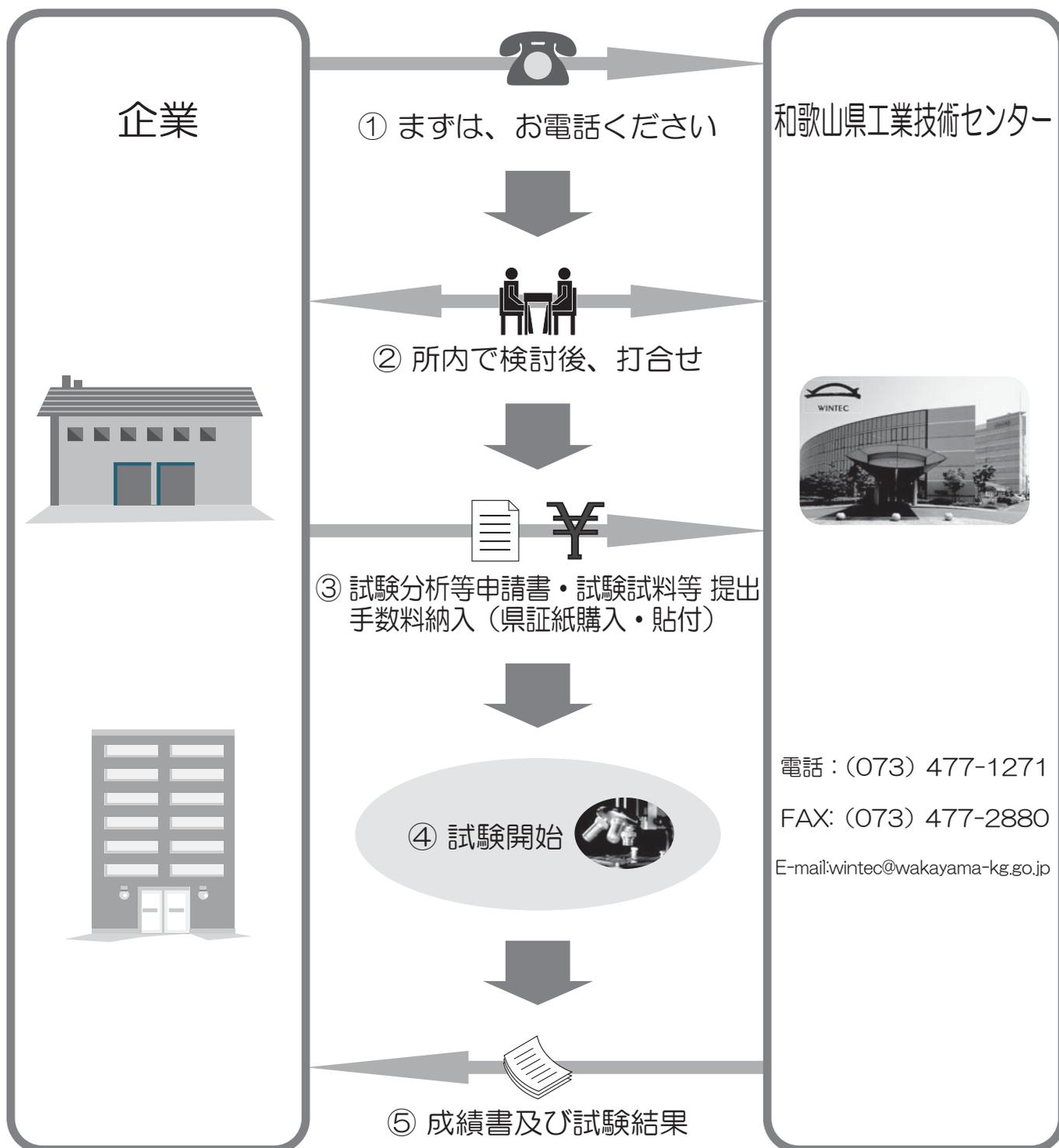
所 属	担 当 名	職 員 名	専 門 分 野
企画総務部		所 長 請川 孝治 副所長 (事務) 妹尾 好高 副所長 (技術) 前田 育克	石油精製・エネルギー 高分子化学・高分子物理
	政策調整課	部 長 小畑 俊嗣 課 長 金野 克己 主 任 中浦 規矩子 主 査 菱山 徹 副 主 査 谷川 智雪 現業技能員 中村 浩規 用 務 員 片山 貴子	分析化学・無機化学
食品産業部	技術企画課	課 長 上野 吉史 主任研究員 由井 徹 主査研究員 中本 知伸 主査研究員 時枝 健太郎 副主査研究員 宮本 昌幸	電子工学・EMC 工業デザイン・WEBデザイン 応用物理・ゲル物性・有機薄膜 金属材料・凝固・結晶成長 情報処理・画像処理
	食品評価グループ	部 長 福本 憲治 主任研究員 高垣 昌史 主査研究員 阪井 幸宏 研 究 員 野中 亜優美	食品開発・品質管理 分析化学・有機化学 遺伝子工学・分子生物学 果樹園芸学
生活・環境産業部	新食品開発グループ	主任研究員 細田 朝夫 主査研究員 根来 圭一 主査研究員 赤木 知裕 副主査研究員 藤原 真紀 副主査研究員 片桐 実菜 研 究 員 古田 貴裕	有機合成・有機化学 果樹園芸学 食品工学 農芸化学・応用微生物 食品分析・食品工学 果樹園芸学
	繊維皮革グループ	部 長 古田 茂 主任研究員 解野 誠司 主査研究員 山際 秀誠 副主査研究員 中村 允 副主査研究員 大萩 成男 副主査研究員 田口 義章 研 究 員 清水 翔太	メカトロニクス 染色加工・生活科学 生物工学・排水処理 有機化学・界面化学 色彩応用技術・染色加工 金属材料 生物工学
機械金属産業部	高分子木材漆器グループ	主査研究員 梶本 武志 副主査研究員 山下 宗哲 副主査研究員 宮崎 崇 副主査研究員 山口 和三	木材工学・木質環境技術 実装材料・接合体評価 高分子物性 高分子材料・高分子加工技術
	機械金属グループ	部 長 坂下 勝則 主査研究員 鳥飼 仁 主査研究員 徳本 真一 副主査研究員 重本 明彦 副主査研究員 上森 大誠 副主査研究員 新山 茂利 副主査研究員 角谷 秀昭 研 究 員 森 智博	生産機械・デジタルエン지니어リング 知的財産・メカトロニクス メカトロニクス 薄膜工学・表面物性 機械設計 金属材料・金属分析 織物技術・繊維製品評価 固体物性・光物性
化学産業部	造形グループ	主任研究員 山本 芳也 主査研究員 旅田 健史 副主査研究員 花坂 寿章	ニット・繊維材料・繊維物性 CAD・CG 機械技術・金属加工
	合成技術グループ	部 長 伊藤 修 主査研究員 森 一 主査研究員 三宅 靖仁 副主査研究員 森 岳志 研 究 員 吉村 侑子	高分子化学・複合材料 有機合成・有機化学 有機合成・分析評価 有機エレクトロニクス・有機合成 応用微生物
電子産業部	分析評価グループ	主査研究員 松本 明弘 主査研究員 多中 良栄 副主査研究員 大崎 秀介 副主査研究員 森 めぐみ 副主査研究員 木村 美和子	分析化学 有機化学・有機合成・分析評価 分析化学・分子認識化学 分析化学・有機化学 分析化学・食品分析
		部 長 (副所長兼務) 前田 育克 主任研究員 今西 敏人 主査研究員 伊東 隆喜 主査研究員 竿本 仁志 副主査研究員 町谷 功司 副主査研究員 前田 裕司	高分子化学・高分子物理 セラミックス・金属分析 レーザー・半導体・モデル検査・組込み・情報リテラシ 太陽電池・有機エレクトロニクス 分析化学・分子認識化学 電子工学・数理工学
薬事産業部		部 長 橘爪 崇 主査研究員 堀内 達司 副主査研究員 則藤 真理子 副主査研究員 吉原 理津子 副主査研究員 丸岩 敏和	医薬品等分析・生薬試験 医薬品等分析 医薬品等分析・生薬試験 医薬品等分析 医薬品等分析

5. 受 託 試 験

企業の技術開発、生産技術等を支援するため、企業からの依頼に基づき、JIS 規格、その他の試験・分析を行います。

ご依頼は電話、FAX、電子メール等で受け付けております。

ご利用の手順



注：試験内容により手順の変更があります

受 付

受託試験は、随時受け付けています。電話・FAX・メール等でお問合せください。

電話：(073) 477-1271 (代) FAX：(073) 477-2880

E-Mail：wintec@wakayama-kg.go.jp

- まず、電話等で受託試験の具体的内容をお聞きします。
- センターで対応可能な場合は、下記の要領で担当研究員と打ち合わせを行います。
※お電話の中で、ご来所いただく場合は日時を担当研究員と調整してください。

打ち合わせ

下記事項について担当研究員と打ち合わせを行います。

- 受託試験の詳細な内容（試料の持参・郵送の別、試料の量、試験項目 等）
- 受託試験の手数料（手数料は、和歌山県使用料及び手数料条例により定められています。）
- 「試験分析等申請書」の記載方法
- 受託試験の終了予定日
- 試験・分析後の試料返却の要・不要・受け渡し方法
- その他

提出していただく物

試験分析等申請書・試験試料の提出、手数料を納入していただきます。

- 「試験分析等申請書」を提出していただく際には、社印、依頼者の印は不要です。
- 手数料は、申請時に原則として和歌山県証紙により納入していただきます。
(口座振込みによる証紙販売も利用できます、詳しくは政策調整課までお問合せください。)

電話：(073) 477-1271 (代)

結果の通知

試験・分析が終了しましたら、担当研究員から連絡いたします。

- 試験結果について担当研究員からの説明をご希望の際には、前もって担当研究員と来所される日時を調整してください。
- 成績書の郵送を希望される場合は郵送料をご負担いただきますのでご了承ください。

ご利用等

和歌山県内外の何れの企業もご利用いただけます。

試験分野・費用

「受託試験 項目と手数料」のページを参照してください。

6. 受託試験 項目と手数料 (平成25年4月1日現在)

和歌山県使用料及び手数料条例(昭和22年和歌山県条例第28号)に基づく

1	一般化学分析		
	ア 定性	1試料1成分につき	1,990円
	イ 定量	1試料1成分につき	4,620円
2	機器分析		
	ア 元素分析		
	(ア) 鉄鋼炭素硫黄分析	1試料につき	4,510円
	(イ) 有機元素分析	1試料につき	6,720円
	イ 分光分析		
	(ア) 誘導結合プラズマ発光分析		
	a 定性	1試料1成分につき	11,450円
	b 定量	1試料1成分につき	7,770円
	(イ) 原子吸光分析	1試料1成分につき	4,620円
	(ウ) 赤外分光分析		
	a フ - リエ変換型	1試料につき	5,250円
	b 顕微フ - リエ変換型	1試料につき	7,560円
	(エ) その他分光分析	1試料1成分につき	3,570円
	ウ クロマト分析		
	(ア) 分子量分布測定	1試料につき	10,180円
	(イ) その他クロマト分析	1試料1成分につき	5,140円
	エ 質量分析		
	(ア) 精密質量分析	1試料につき	15,230円
	(イ) ガスクロマトグラフィ質量分析		
	a 液体注入法	1試料につき	7,670円
	b ヘッドスペース法	1試料につき	9,560円
	c 熱分解法	1試料につき	9,870円
	(ウ) 液体クロマトグラフィ質量分析	1試料につき	18,480円
	オ X線分析		
	(ア) 蛍光X線分析(波長分散型)		
	a 定性	1試料1測定につき	7,980円
	b 定量	1試料1成分につき	5,040円
	c ポイント分析	1試料1点につき	19,430円
	d ヘリウム分析	1試料1測定につき	3,050円
	(イ) 蛍光X線分析(エネルギー分散型)		
	定性	1試料1測定につき	6,420円
	(ウ) X線回析		
	a 定性	1試料1測定につき	5,560円
	b 定量	1試料1成分につき	5,560円
	c その他X線回析	1試料1成分につき	6,930円
	カ 核磁気共鳴分析		
	(ア) 水素	1試料につき	9,130円
	(イ) 炭素		
	a 3時間未満	1試料につき	14,590円
	b 3時間以上	1試料につき	21,840円
	(ウ) 他核		
	a 3時間未満	1試料につき	16,700円
	b 3時間以上	1試料につき	24,570円
	(エ) 2D		
	a 3時間未満	1試料につき	15,540円
	b 3時間以上	1試料につき	23,420円
	(オ) 固体		
	a 12時間未満	1試料につき	64,470円
	b 12時間以上	1試料につき	82,850円
	キ 熱分析		
	(ア) 熱重量、示差熱、熱走査分析	1試料1項目につき	6,090円
	(イ) 熱機械特性		
	a 室温より高い場合	1試料につき	6,090円
	b 室温より低い場合	1試料につき	8,720円
	ク 表面分析		
	X線光電子分光分析	1試料につき	14,590円
	ケ その他機器分析	1試料1成分につき	3,780円

3	材料試験		
	ア	強度試験	
		(ア) 引張	
		a 糸・布	1試料につき 3,150円
		b 金属材料	1試料につき 1,780円
		c 引張強度に伸びを付加	1試料につき 1,470円
		d 高分子材料	1試料につき 3,050円
		e その他材料	1試料につき 3,040円
		(イ) 衝撃	1種類につき 3,250円
		(ウ) 圧縮	
		a 木製品・紙製品耐圧	1試料につき 1,470円
		b 高分子材料	1試料につき 3,050円
		c その他一般	1試料につき 520円
		d その他特殊	1試料につき 1,150円
		(エ) 曲げ	
		a 高分子材料	1試料につき 3,050円
		b その他材料	1試料につき 1,150円
		(オ) 疲労	
		高分子材料	1試料につき 4,620円
		(カ) 抗折	1試料につき 1,150円
	イ	硬度試験	
		(ア) プリネル、ピッカース、ロックウェル	1試料1測定につき 1,890円
		(イ) その他硬度試験	1試料1測定につき 1,780円
		(ウ) 硬さ分布	1試料10測定まで 2,940円
		(エ) 硬さ分布	10測定追加につき 2,100円
	ウ	金属組織試験	
		(ア) マクロ試験	1視野につき 2,100円
		(イ) その他金属組織試験	1視野につき 2,310円
	エ	摩耗試験	
		テーバー型	1試料につき 2,200円
	オ	非破壊試験	
		(ア) X線透過	
		a 工業用サイズ	1枚につき 3,250円
		b 特殊サイズ	1枚につき 5,140円
		c その他X線透過	1測定につき 4,310円
		(イ) X線CT	
		a 一般	1測定につき 7,350円
		b 連続	1時間につき 19,530円
	カ	その他材料試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき 3,800円
4	電子顕微鏡試験		
	ア	一般撮影	1視野につき 8,510円
	イ	元素分析	1測定につき 9,770円
	ウ	マッピング	1測定につき 16,490円
5	走査型プローブ顕微鏡試験		
		1測定につき	14,280円
		1視野追加	4,310円
6	精密測定		
	ア	形状測定	
		(ア) 真円度、円筒度	1測定につき 2,520円
		(イ) 表面粗さ	
		a 一般	1測定につき 2,620円
		b 3次元	1測定につき 5,140円
	イ	特殊測定	
		(ア) 3次元測定	1測定につき 2,620円
		(イ) 高速度観察測定	1時間(1時間未満は1時間とする)につき 4,620円
		(ウ) 熱画像測定	1試料につき 3,670円
		(エ) 測色	1測定につき 2,410円
	ウ	その他精密測定	1測定につき 4,830円
7	物性測定		
	ア	化学物性測定	
		(ア) 水素イオン濃度、電気伝導度、比重、密度、粘度	1試料1項目につき 1,050円
		(イ) 水分率・吸水率測定	1試料につき 1,050円
		(ウ) 脱臭効果試験	1試料1測定につき 2,520円
	イ	粉粒体物性測定	
		(ア) 粒度分布測定	1試料につき 4,520円
		(イ) 比表面積測定	1試料につき 5,350円
		(ウ) 密度測定	1試料につき 3,150円
	ウ	動的粘弾性測定	
		温度分散	1試料につき 7,030円

エ	電気化学測定	1試料1測定 3時間まで 3時間を超えるときは、その超える1時間までごとに	11,000円 3,140円
オ	その他物性測定	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,800円
8	拡大観測		
ア	光学顕微鏡観測	1視野につき	2,520円
イ	その他拡大観測	1視野につき	1,890円
9	電気試験・測定		
ア	電気特性試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	4,100円
イ	EMC測定(エミッション/イミュニティ測定)	1試料1項目につき	22,790円
ウ	EMC測定(その他)	1試料1項目につき	4,730円
エ	耐電圧試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	2,840円
オ	光パワー計測	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,680円
カ	光スペクトラム計測	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	5,150円
10	環境試験・測定		
ア	騒音測定		
(ア)	レベル	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,990円
(イ)	周波数分析	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	4,620円
イ	振動測定		
(ア)	レベル	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,990円
(イ)	周波数分析	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	4,620円
ウ	振動試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,780円
エ	腐食試験		
(ア)	塩水噴霧		
a	塩水噴霧	15cmx7cm以下の試料10個 24時間まで	3,150円
b	塩水噴霧	15cmx7cm以下の試料10個 24時間を超え 24時間(24時間未満は24時間とする)につき	1,790円
(イ)	塩乾湿複合サイクル試験		
a	塩乾湿複合サイクル試験	1試料24時間まで	13,440円
b	塩乾湿複合サイクル試験	24時間を超え24時間(24時間未満は24時間とする)につき	7,880円
オ	恒温恒湿試験		
(ア)	400リットル以下		
a	400リットル以下	1時間まで	950円
b	400リットル以下	1時間を超え1時間(1時間未満は1時間とする)につき	420円
(イ)	400リットル超		
a	400リットル超	1時間まで	1,580円
b	400リットル超	1時間を超え1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,050円
カ	耐候試験		
a	耐候試験	1時間まで	1,370円
b	耐候試験	1時間を超え1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,050円
キ	その他環境試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,800円
11	微生物試験		
ア	定性	1試料1項目につき	1,150円
イ	定量	1試料1項目につき	2,520円
ウ	その他微生物試験	1試料1項目につき	6,400円
12	変異原性試験	ウムテスト 1試料につき(キット代は別に実費を徴収する)	14,390円
13	特定分野試験		
ア	高分子(材料及び製品に限る。)		
(ア)	耐熱試験	1試料につき	3,670円
(イ)	混練特性	1試料につき	6,300円
(ウ)	荷重たわみ温度	1試料につき	10,190円
(エ)	全光透過率	1試料につき	2,940円
(オ)	水蒸気透過率	1試料につき	9,870円
(カ)	酸素透過率	1試料につき	9,980円
(キ)	その他高分子試験	1試料1成分につき	6,190円

イ 繊維(糸、布及び加工布に限る。)

(ア) 物性試験		
a 風合い測定	1試料1項目につき	2,200円
b 編目長	12口(12口未満は12口とする)につき	2,840円
c 寸法変化	1試料につき	2,100円
d 破裂	1試料につき	2,310円
e 通気度	1試料につき	1,990円
f 引裂き	1試料につき	3,360円
g 滑脱	1試料につき	4,200円
h バイル保持率	1試料につき	6,300円
i その他物性試験	1試料1項目につき	3,040円
(イ) 組織分解	組織点100点(100点未満は100点とする)につき	3,990円
(ウ) 繊維鑑別	1試料1成分につき	2,200円
(エ) 混用率試験		
a 溶解法	1試料1成分につき	5,350円
b 解じょ法	1試料1成分につき	3,250円
(オ) 編成試験(ローソン1本編機使用)		
a 糸状試料	1組織につき	2,830円
b 解じょ再編成試験	12口(12口未満は12口とする)につき	3,680円
(カ) 燃焼性試験	1試料につき	4,090円
(キ) 加工布性能試験	1試料1項目につき	4,620円
(ク) 染色加工試験	1試料につき	4,090円
(ケ) 染色堅ろう度試験		
a 塩素、ドライ、酸化窒素ガス	1試料1項目につき	1,890円
b キセノンアーク耐光試験	1試料JIS4級照射につき	3,050円
c 分光照射試験	10時間につき	1,890円
d 洗濯、摩擦、水、酸性汗、アルカリ汗	1試料1項目につき	740円
(コ) 繊維外観観察	1試料につき	1,050円
(サ) 繰り返し洗濯試験	1試料1サイクルにつき	1,470円
(シ) 遊離ホルムアルデヒド試験	1試料につき	5,780円
(ス) 紫外線遮へい率測定	1試料につき	4,310円
(セ) 紫外可視近赤外透過率測定	1試料1測定につき	3,920円
(ソ) UPF測定	1試料1測定につき	4,890円

ウ 食品

(ア) 醸造用水試験		
a 定性	1試料1成分につき	1,150円
b 定量	1試料1成分につき	2,410円
(イ) 食品物性試験	1試料1項目につき	2,830円
(ウ) 食品保存試験		
a 食品保存試験	1試料24時間まで	1,580円
b 食品保存試験	24時間を超え24時間(24時間未満は24時間とする)につき	160円
(エ) おり下げ試験	1試料につき	3,250円
(オ) 食品添加物試験		
a 定性	1試料1成分につき	3,670円
b 定量	1試料1成分につき	4,410円
(カ) 酸度、塩度、糖度試験	1試料1成分につき	2,100円
(キ) 食品成分試験	1試料1成分につき	3,670円
(ク) 栄養成分試験	1試料(5成分)につき	19,300円
(ケ) 水分活性試験	1試料につき	2,840円
(コ) 食品におい成分試験	1試料につき	8,610円
(サ) その他食品試験	1試料1項目につき	4,510円

エ 木工

(ア) 塗膜試験	1試料につき	1,780円
(イ) その他木工試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,800円

オ 機械金属

動釣合試験		
a 100キログラム未満のもの	1試料につき	6,190円
b 100キログラム以上のもの	1試料につき	10,080円

カ 皮革		
(ア) 皮革物性試験		
a 吸湿度	1試料につき	1,680円
b 透湿度	1試料につき	1,260円
c 耐水度	1試料につき	1,260円
d 吸水度	1試料につき	1,470円
e 液中熱収縮温度	1試料につき	950円
f 摩耗	1試料につき	1,580円
g 空気透過度	1試料につき	1,160円
h 厚さ	1試料につき	840円
i その他皮革物性試験	1試料1項目につき	1,260円
(イ) 皮革化学試験		
a 皮革化学分析	1試料1成分につき	1,780円
b 水分	1試料につき	1,260円
c 脂肪分	1試料につき	1,990円
d 皮質分	1試料につき	1,780円
e なめし度	1試料につき	4,300円
f 耐溶剤	1試料につき	1,470円
g 遊離ホルムアルデヒド試験	1試料につき	5,780円
(ウ) 皮革染色堅ろう度試験		
a ドライクリ - ニング	1試料につき	1,890円
b キセノンアーク耐光試験	1試料JIS4級照射につき	3,050円
c 洗濯、摩擦、水、酸性汗、アルカリ汗	1試料1項目につき	740円
キ 医薬品等		
(ア) 定性試験	1成分につき	1,790円
(イ) 定量試験	1成分につき	2,940円
(ウ) 製造用水試験	1件につき	5,560円
ク その他特定分野試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,570円
14 デザイン・設計		
ア CAD		
(ア) モデリング	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,180円
(イ) 解析(設定)	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,180円
(ウ) 解析(計算)	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	400円
イ CG	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,050円
ウ ガーメントシミュレーション	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,260円
エ その他	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,570円
15 特殊加工		
ア 電子線照射加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,360円
イ プラズマ加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,890円
ウ 機械加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	8,290円
エ 熱処理	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,360円
オ 光造形	30分(30分未満は、30分とする)につき	5,150円
カ フルカラー 3次元プリンタ造形	30分(30分未満は、30分とする)まで	2,420円
	30分(30分未満は、30分とする)追加につき	1,580円
キ その他特殊加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,570円
16 特殊データ処理		
ア 画像処理	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	6,300円
イ コンピュータによるデータ解析	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	5,670円
17 成績書、証明書、検定書及び鑑定書等の交付		
ア 成績書、証明書、検定書及び鑑定書		
(ア) 和文	1通につき	520円
(イ) 英文	1通につき	740円
イ 成績書、証明書、検定書及び鑑定書の副本	1通につき	310円

備考

1 温度指定計測を必要とする場合は、当該手数料の額に温度指定計測の種類に応じ、次に掲げる額を加算する。

- | | |
|--------------|------|
| (1) 常温より高温指定 | 630円 |
| (2) 常温より低温指定 | 730円 |

2 試験分析前処理を必要とする場合は、当該手数料の額に30分(30分未満は30分とする)につき1,900円を加算する。

3 県内に住所又は事務所を有する者以外の者の申請により行う場合は、当該手数料の額に100分の20を乗じて得た額を加算する。

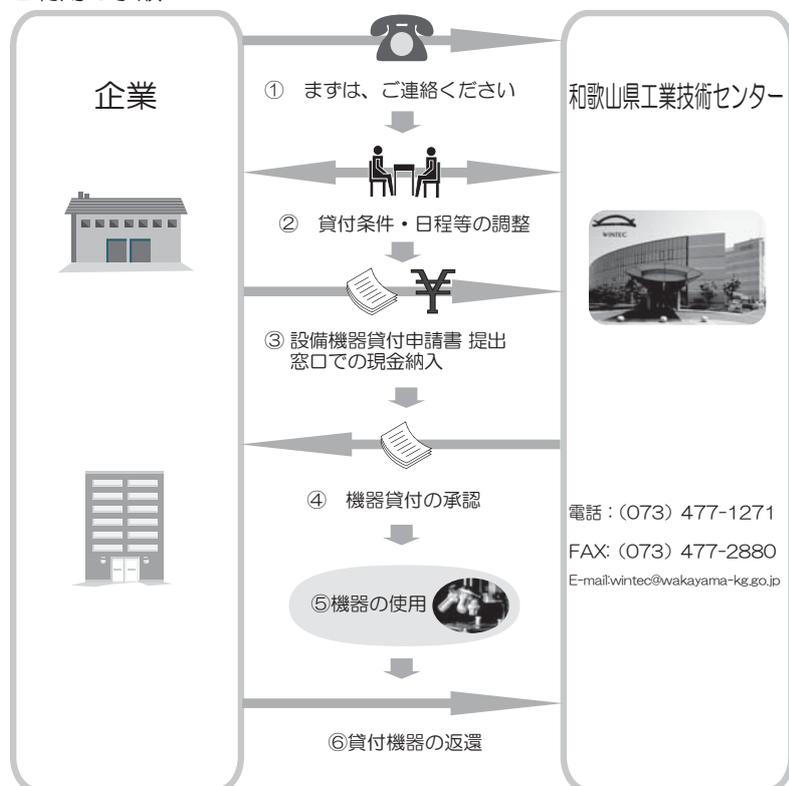
但し、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、鳥取県、徳島県内に住所又は事務所を有する者の申請により行う場合は手数料加算の減免を行う。

4 写真、カラープリントその他の記録を必要とする場合及び特殊消耗品を必要とする場合は、別に実費を徴収する。

7. 設備機器の貸付

県内中小企業等の皆様がセンターの設備・機器類を利用して、自社製品の研究・開発・試験・分析・試作などに役立てていただけるよう、設備機器貸付制度を設けています。

ご利用の手順



受付

機器貸付は、随時受け付けています。電話・FAX・メール等でお問合せください。

電話：(073) 477-1271 (代) FAX：(073) 477-2880

E-Mail：wintec@wakayama-kg.go.jp

まず、電話等で具体的内容をお聞きします。

貸付条件及び貸付日時について、担当研究員と調整してください。

貸付条件

- センター業務に支障をきたさない範囲内でご利用いただけます。
- 設備・機器は原則としてセンター外に持ち出すことはできません。
- 機器を使用できる日及び時間は、月曜日から金曜日（休日及び12月29日から翌年1月3日までの日を除く。）の午前9時30分～午前12時及び午後1時30分～午後5時です。連続してご利用いただける期間は7日以内です。
- ご利用には所定の料金（貸付料）が必要です。ご利用当日、現金でお支払いください。

貸付可能機器・費用

「貸付機器一覧及び貸付料」のページを参照してください。

貸付機器一覧及び貸付料

平成25年12月1日改定

機器分析装置

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
001	紫外線可視近赤外分光光度計	UV-3600	730	生活・環境産業部	解野誠司
020	ケルダール式窒素蛋白質分析装置	Buchi324/435	430	食品産業部	高垣昌史
029	フーリエ変換赤外分光光度計	IRPrestige-21	1,340	化学産業部	森めぐみ
043	蛍光X線分析装置	ZSX100e	3,840	化学産業部	松本明弘
044	蛍光分光光度計	FP-6500	820	化学産業部	松本明弘
046	原子吸光分析装置	SOLAAR M6	2,000	化学産業部	森めぐみ
049	誘導結合プラズマ発光分析装置	ICPS-AES/ULTIMA2	5,070	化学産業部	大崎秀介
062	旋光度計	SEPA200	540	化学産業部	森めぐみ
068	エネルギー分散型蛍光X線分析装置	EDX-800HS	1,900	食品産業部	高垣昌史
098	紫外可視分光光度計	UV-2550	910	生活・環境産業部	中村 允
099	熱分析装置	EXSTAR6000	1,200	化学産業部	大崎秀介
101	微量水分測定装置	MKS - 510N	1,090	薬事産業部	堀内達司
128	※高性能匂いにかぎ装置付きガスクロマトグラフィー	Agilent78980GC	2,250	食品産業部	片桐実菜

材料試験機

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
022	シャルピー衝撃試験機	ICL-300	3,120	機械金属産業部	鳥飼 仁
032	ブリネル硬さ試験機	BH-3CF(2356)	1,450	機械金属産業部	鳥飼 仁
040	機械的特性評価装置	オートグラフAG-100KND(W)	4,100	機械金属産業部	鳥飼 仁
042	金属万能材料試験機	RUE-50G	4,270	機械金属産業部	鳥飼 仁
074	動的防水試験機	水槽/チャック/カンター	200	生活・環境産業部	田口義章
084	摩擦帯電圧測定装置	E. S. T-7型 インストロン製	780	生活・環境産業部	解野誠司
086	万能材料試験機	4501型5KN容量	1,240	生活・環境産業部	田口義章
087	万能材料試験機	RU-100/TK-12C	3,050	機械金属産業部	鳥飼 仁
088	万能材料測定装置	100KNμ-β	2,040	生活・環境産業部	解野誠司
105	q-max測定装置	KES-F7	890	生活・環境産業部	解野誠司
106	糸物性測定装置	FPA/M	1,290	生活・環境産業部	中村 允
131	マイクロビッカース硬度計	ミツトヨ製HM-221AVK	650	機械金属産業部	鳥飼 仁

顕微鏡

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
064	走査型レーザー顕微鏡	ILM21W	1,830	生活・環境産業部	山下宗哲
078	微生物顕微鏡	AHBS-3514S	1,660	食品産業部	阪井幸宏
097	マイクロスコープ	VH-6300	840	生活・環境産業部	中村 允
139	表面観察装置	VC3000	990	化学産業部	大崎秀介

精密測定装置

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
060	精密万能投影機	PJ500L	990	機械金属産業部	徳本真一

物理測定装置

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
033	フレキシオメータ	YSS	40	生活・環境産業部	田口義章
056	食品物性測定装置	CR-500DX型	230	食品産業部	野中亜優美
061	接触角測定装置	CA-X型	2,110	生活・環境産業部	中村 允
071	通気度測定装置	FX3300	270	生活・環境産業部	解野誠司
075	動摩擦係数測定装置	SM-MM2-B	500	生活・環境産業部	解野誠司
079	表面張力計	CBVP-Z型	2,510	生活・環境産業部	中村 允
081	分光測色計	CE-3100	570	生活・環境産業部	大萩成男
089	誘電率測定装置	SDM5600-DES100	2,390	生活・環境産業部	山下宗哲
091	衣服圧測定装置	AM13037-20	3,100	生活・環境産業部	解野誠司
092	回転粘度計	RE550R	2,790	生活・環境産業部	中村 允
095	粒度分布測定装置	SALD-3100	1,310	機械金属産業部	鳥飼 仁
100	パーティクルカウンター	KC-01C	200	薬事産業部	堀内達司
102	波長透過率校正用光学フィルター	JCRM002, JCRM110, JCRM150	130	薬事産業部	堀内達司
103	プリンター付表面温度計	TM-5741	120	薬事産業部	堀内達司
108	熱画像計測装置	CPA-570 (W)	2,140	生活・環境産業部	解野誠司
129	圧力分散性測定装置	BPMSシステム	2,960	生活・環境産業部	解野誠司
136	色差計	CM-600d	300	食品産業部	野中亜優美
137	小型熱画像計測装置	サーモグラフィi40	1,420	生活・環境産業部	解野誠司
138	分光測色計	CM-3700d	730	生活・環境産業部	大萩成男
140	光沢計	GM-268Plus	290	生活・環境産業部	大萩成男

電気試験・測定器

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
025	ノイズシミュレータ	INS-420	130	電子産業部	前田裕司
110	耐電圧・絶縁抵抗試験器	WT-8753	390	電子産業部	前田裕司
112	安定化電源装置	AA2000XG	740	電子産業部	今西敏人
113	デジタルワットメーター	WT1600	830	電子産業部	前田裕司
114	デジタルマルチメーター	34401A	330	電子産業部	竿本仁志
115	電源電圧変動試験機	NSG1003/NSG642	870	電子産業部	前田裕司
116	静電気試験機	ESS-200A	750	電子産業部	今西敏人
117	ファースト・トランジエント・ハースト試験機	EFT500	790	電子産業部	今西敏人
118	雷サージ試験機	LSS-720B	1,000	電子産業部	前田裕司
119	光スペクトラムアナライザ	Q8347	2,750	電子産業部	伊東隆喜
120	光パワーメータ	LaserMate-D	1,500	電子産業部	伊東隆喜

環境試験・測定装置

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
021	サンシャインウェザーオーメーター	WEL6XS-DS-B	1,230	生活・環境産業部	梶本武志
037	塩乾湿複合サイクル試験機	150-3-CY-R	560	機械金属産業部	鳥飼 仁
065	キセノンウエザオメーター	SX-75	1,290	生活・環境産業部	梶本武志
066	耐光暴露促進試験システム	3SUNCi35A	2,260	生活・環境産業部	中村 允
093	環境試験機	TBE・3W4YP2QR	1,420	生活・環境産業部	梶本武志
111	軟X線検査装置	SV-100AW	1,090	機械金属産業部	徳本真一
121	環境試験室	TBE-2HW6P4C	3,250	生活・環境産業部	梶本武志

試作加工機

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
003	大気圧放電加工処理装置	H11年式	1,630	生活・環境産業部	解野誠司
017	NCカットオフマシン	GA260(190KY6-2)	980	機械金属産業部	花坂寿章
027	バップルブース	SBB-151	240	生活・環境産業部	梶本武志
035	ユニバーサルスチーマー	D H e 型	1,990	生活・環境産業部	解野誠司
036	ワイヤカット放電加工システム	A500WP(2874)	3,980	機械金属産業部	花坂寿章
052	混練押出機	TEX30XSST-315AW-2V	2,130	生活・環境産業部	梶本武志
054	試料粉碎機	UP-140	160	生活・環境産業部	梶本武志
059	精密汎用旋盤	DL65-150/27629	1,560	機械金属産業部	花坂寿章
067	卓上ニーダ	PNV-5H	800	生活・環境産業部	梶本武志
072	パンチングマシン	ドビー機用	950	生活・環境産業部	大萩成男
090	赤外線加熱回転ポット染色機	MINI-COLOR-V5	1,140	生活・環境産業部	解野誠司
109	木製試験太鼓	木製 幅910×φ1212	1,020	生活・環境産業部	田口義章
122	過熱水蒸気発生装置	GHC0505-W03L20	1,840	食品産業部	阪井幸宏
123	圧力真空ニーダー	GNP-6SVT	2,080	食品産業部	片桐実菜
124	スプレードライヤ	ヤマト科学	480	食品産業部	細田朝夫
125	真空包装機	V-602GII	210	食品産業部	根来圭一
126	パルパーフィニッシャー	HC-PP型	420	食品産業部	赤木知裕
127	カッターミキサー	R-10D	420	食品産業部	古田貴裕
133	小型秤充填機	4ZR-H	380	食品産業部	赤木知裕
134	小型高温高圧調理器	FCS-KM75	730	食品産業部	赤木知裕
135	クラッシャー(果実・野菜粉碎機)	HC-VC型	390	食品産業部	根来圭一

デザイン開発機器

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円) (1時間あたり)	担当部	担当者
130	3Dデータ作成システム	FreeForm Modelling	340	機械金属産業部	旅田健史

備考

1. 使用時間が1時間に満たないとき、又は使用時間に1時間に満たない端数があるときは、1時間として計算する。
 2. 県内に住所又は事業所を有する者以外の者の申請により貸し付ける場合は、当該基本料金の額に100分の20を乗じて得た額を加算する。
但し、大阪府、京都府、兵庫県、滋賀県、鳥取県、徳島県内に住所又は事務所を有する者の申請により行う場合は手数料加算の減免を行う。
 3. 写真、カラープリントその他の記録を必要とする場合及び特殊消耗品を必要とする場合は、別に実費を徴収する。
- ※ 本機器は「平成21年度近畿地域イノベーション創出共同体形成事業 研究開発環境支援事業」の一環として整備されたものです。機器の利用に当たっては一定の条件があります。詳細についてはお問い合わせください。

8. 技術相談、技術指導、デザイン相談

技術相談（無料）

新製品開発、工程管理、製品不具合の発生など、技術上の様々な問題について、各分野の研究者がきめ細かい相談に応じます。

電話、FAX、Eメール、来所等により常時無料で相談に応じます。

来所される場合は、予め電話等で用件の概要をお伝え願います。

相談内容を、他に漏らすことは一切ありません。お気軽にご相談下さい。

技術指導（無料）

研究者が企業に出向き、技術指導を無料で行います。

技術指導を希望される方は、研究者に電話等で、お申し込みください。

デザイン相談（無料）

県内企業からのデザインに関する相談に、客員相談員（デザイナー等）が応じます。

事前に申し込みが必要ですので、詳しくは機械金属産業部造形グループまでお問い合わせください。

お問い合わせ先

TEL: 073-477-1271 (代)

FAX: 073-477-2880

E-mail: wintec@wakayama-kg.go.jp

9. 共同研究、技術移転促進活動

共同研究

国補研究事業や県単独事業等の制度で研究を実施する場合、研究を効率的に実施するために技術・知識を交換し、費用及び研究課題を分担することにより共同して行う研究です。所定の共同研究申請書を提出し、契約を締結して、共同研究を行います。

技術移転促進活動

研究成果普及広報 テクノリッジ、業務年報、研究報告の発刊。一日工業技術センター、研究成果発表会等を開催。展示会への出展、学会発表、論文投稿等の活動を通してセンター事業成果の積極的な普及広報を実施します。

提案公募型研究開発 国の競争的研究開発事業に積極的に提案し、外部資金の導入を図るための研究提案を行います。

新商品開発支援 工業技術センター保有特許を活用して新商品開発を希望する場合、実施契約を締結した後企業に対して開発支援を行うことができます。

研究開発基盤の整備 地域産業の知識集約型・高付加価値型産業への転換に必要な基盤を整備するため先端分析機器の設備拡充を行います。

10. 受 託 研 究

受託研究は工業技術センターの研究員の専門的知識、ノウハウ、機器を利用し、企業等の抱えている技術課題を解決するとともに研究開発を支援するものです。

ご利用の手順



受付

受託研究は随時受け付けています。
各担当部署と協議のうえ、試験研究委託申請書を提出していただきます。

対象企業等

和歌山県内外の中小企業、団体等

研究分野

繊維・染色 食品 高分子材料 金属無機材料 化学 環境 機械システム
電子システム 薬事 漆器 木質材料 皮革 デザイン関連 その他

経費の負担

研究内容に応じて、企業に研究経費（人件費、機器償却費、消耗品、光熱費）を負担していただきます。

研究補助員等派遣

企業は研究補助員を工業技術センターに派遣し、研究に参加させることも可能です。

研究結果の報告

研究終了後、報告書を提出します。
研究結果資料、現物提供等により、報告書に代えることもあります。

結果の取り扱い

受託研究の結果、発明や考案が生じた場合、協議により持分を定めて、特許等を共同で出願できます。

委託者の業務に支障が生じる場合は、協議によりその内容について公表しないことができます。

試験研究委託申請書

平成 年 月 日

和歌山県工業技術センター 所長様

(申請者)

住所

会社名

⑩

代表者氏名

⑩

和歌山県工業技術センター受託研究規則第2条の規定により、下記のとおり試験研究受託に関し申請します。

記

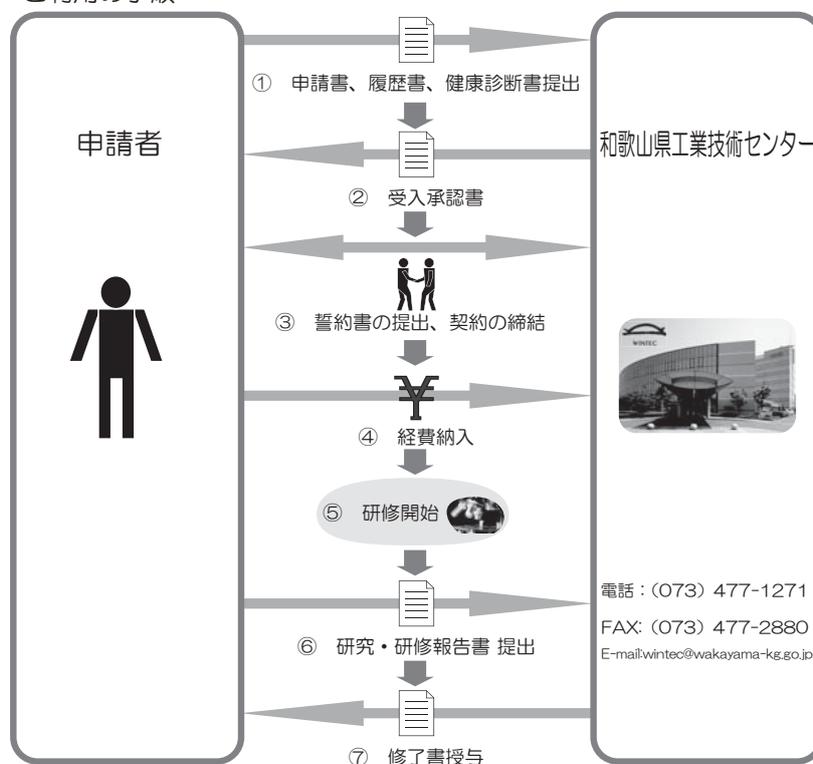
- 1 試験研究課題
- 2 試験研究目的
- 3 試験研究の内容
- 4 試験研究実施期間についての希望
- 5 試験研究費の金額及び納付についての希望
- 6 特許権等の実施についての希望
- 7 試験研究用資材及び設備の提供についての希望
- 8 試験研究補助者の派遣についての希望

注：1.試験研究課題については公開することになっていきますので注意してください。

11. 研究生・研修生の受入

工業技術センターでは、中小企業等の技術者の養成及び能力の向上を図るため、基礎から応用技術までの研究指導、技術指導を行います。またこの制度により、当センターの技術開発研究のシーズを習得して頂き、企業等に技術移転を行います。

ご利用の手順



対象企業等

- 公的試験研究機関または大学等において研究に従事している者
- 和歌山県内の中小企業、県内に事務所を有する企業、またはこれに類する団体の業務に従事している者
- 上記の規定にかかわらずセンター所長が特に認められた者

受付

研究生・研修生の受入は随時受け付けています。

事前に、「研究生・研修生受入申請書」に履歴書、健康診断書（3ヶ月以上の場合）を添えて、所長に提出してください。

審査の後、受入が認められますと、「受入承認書」が送られます。その後技術研究・研修契約をして頂きます。

研修経費の負担

研究・研修に要する機器、器具等は工業技術センターに設置しているものを使用しますが、消耗品については、原則として、研究生・研修生側に負担して頂きます。

研修終了後

研修が実施され、研究・研修報告書が提出されますと修了書が授与されます。

別記 第1号様式（第3条関係）

平成 年 月 日

和歌山県工業技術センター所長 様

所在地

申請者

（代表名）

㊟

研究生・研修生の受入申請について

和歌山県工業技術センター研究生・研修生受入要領に基づき、下記のとおり貴センターの研究生・研修生として受け入れてくださるよう申請します。

記

1 研究生・研修生の所属、職名、氏名及び担当職務（専攻科目）

2 受入希望期間

平成 年 月 日（ ）から平成 年 月 日（ ）まで

3 希望する研究・研修課題

4 研究・研修を必要とする理由

5 添付書類

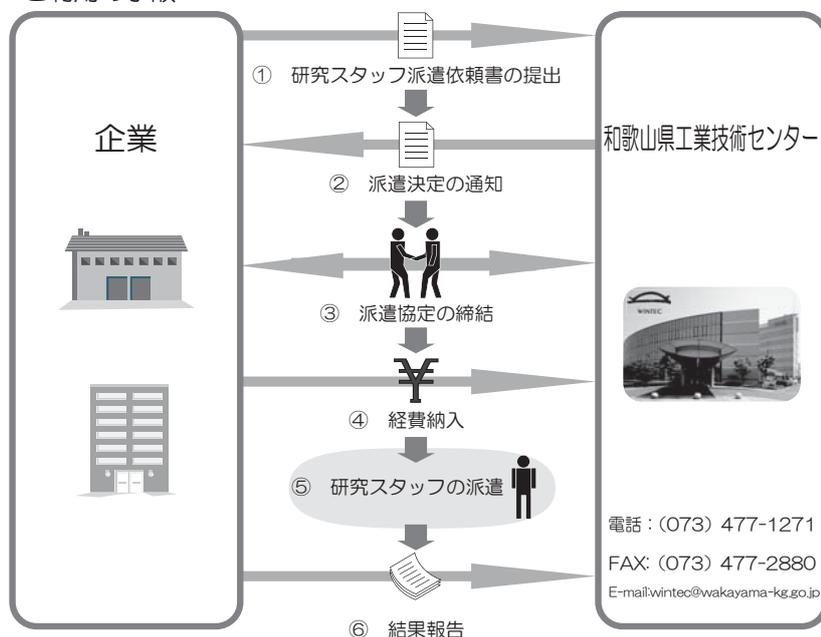
（1）履歴書

（2）健康診断書（3か月以上の場合）

12. いきいき研究スタッフ派遣

県内中小企業の技術開発を人材面から支援するため、工業技術センターの研究スタッフを、一定の期間、企業等に派遣し、研究開発等に必要な技術開発の支援を行います。

ご利用の手順



対象となる技術開発

新製品・新技術の開発、製品の高付可価値化、生産工程の改善等に関する技術支援で、派遣日数が5日以上の場合です。

業務の内容

技術開発のための試験、研究、分析、検査、評価等に関する技術支援です。

対象技術分野

対象技術は、次の11分野です。

- | | | |
|--------------|-------|------------------------|
| 1. 繊維 | ----- | 織物、編物、繊維機械、染色仕上 |
| 2. 食品 | ----- | 発酵、酵素利用、一般食品加工 |
| 3. 化学 | ----- | 有機合成 |
| 4. 薬事 | ----- | 医薬品、医薬部外品、化粧品等製造・製造販売 |
| 5. 皮革 | ----- | 皮革加工 |
| 6. 木質 | ----- | 木材加工 |
| 7. 機械・金属材料 | ----- | 精密測定、材料評価 |
| 8. 機械・電子システム | --- | 機械システム設計、電子システム設計、計測制御 |
| 9. 一般生産・管理技術 | --- | 工程管理、品質管理・評価、プロセス設計・制御 |
| 10. 環境技術 | ----- | 廃水処理、騒音対策、有害物質対策 |
| 11. デザイン | ----- | 製品デザイン、グラフィックデザイン |

派遣期間

派遣期間は、原則として3ヶ月以内です。

ただし、特に必要がある場合は、期間を延長することがあります。

企業負担金

企業負担金として、1日につき6,000円を和歌山県に納めていただきます。

研究職員の派遣に要する旅費・滞在費用は和歌山県が負担いたします。

和歌山県工業技術センター所長 様

所在地

名 称

代表者名

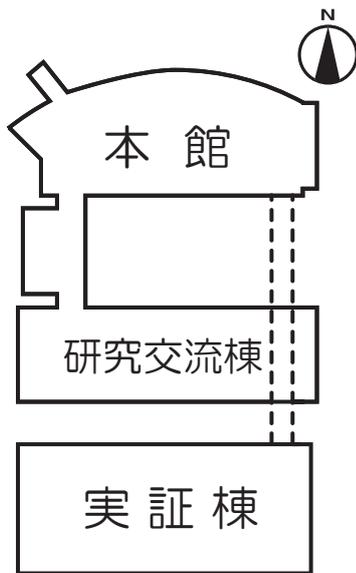


研 究 ス タ ッ フ 派 遣 依 頼 書

次のとおり依頼したいので、いきいき研究スタッフ派遣事業実施要領第8条の規定により
申し込みます。

1 技術開発の概要	
2 派遣を希望する 技 術 分 野	
3 派遣を希望する 期 間	年 月 日から 年 月 日まで
4 派 遣 場 所	
5 備 考	

13. 建物配置図

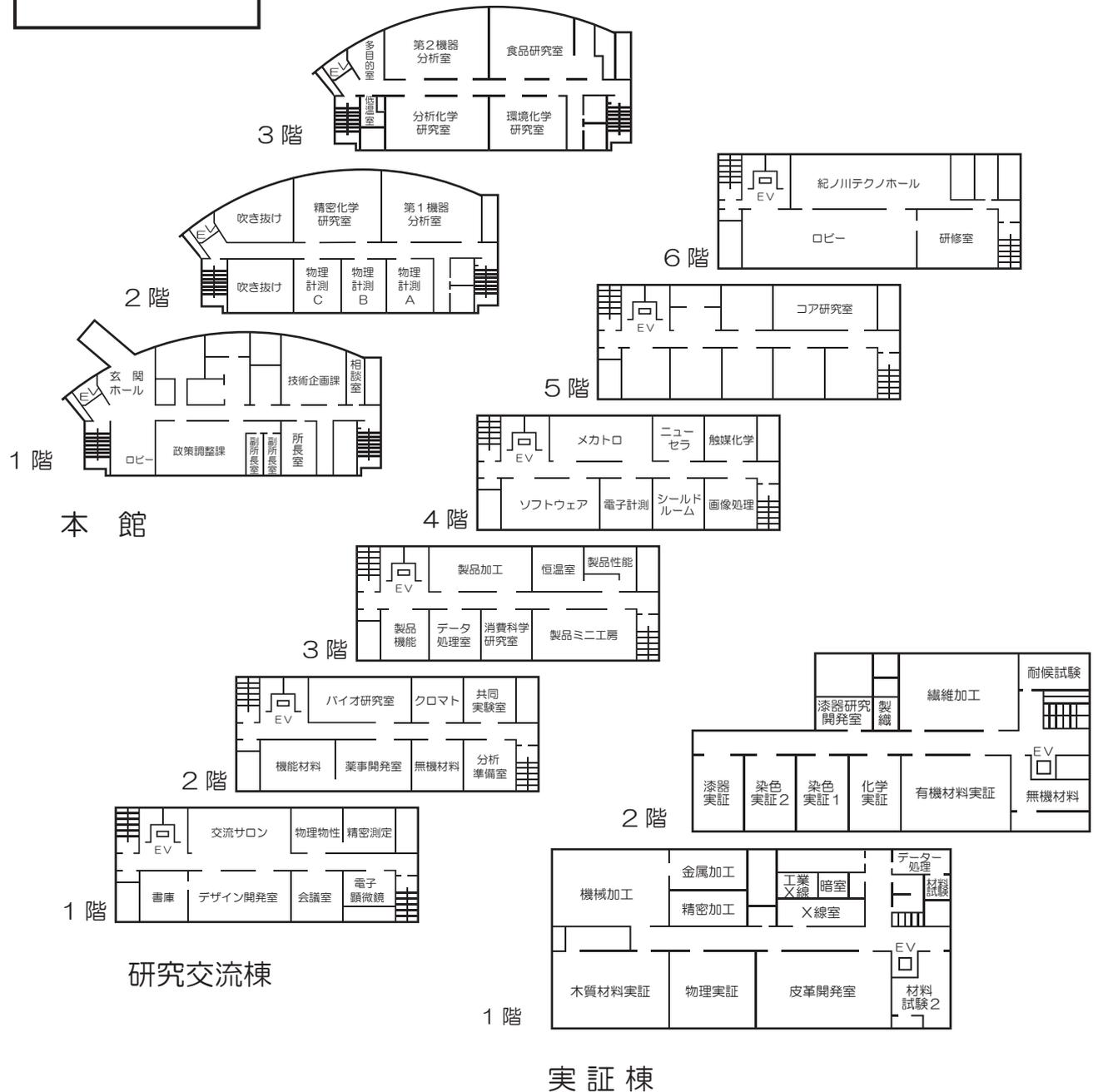


和歌山県工業技術センター



敷地面積 / 10,003.09 m²

本館	鉄筋コンクリート造り	3階建て	延べ床面積	2,348.89 m ²
研究交流棟	鉄筋コンクリート造り	6階建て	延べ床面積	4,609.02 m ²
実証棟	鉄骨造り	2階建て	延べ床面積	2,518.52 m ²
機械棟	鉄筋コンクリート造り	2階建て	延べ床面積	292.94 m ²
その他			延べ床面積	176.80 m ²
			合計	9,946.17 m ²



和歌山県工業技術センターご利用の手引き

平成 25 年 6 月 発行

編集・発行：和歌山県工業技術センター
所在地：〒649-6261 和歌山市小倉 60 番地
電話：(073) 477-1271(代)
FAX：(073) 477-2880

アクセス： 南海和歌山市駅前より橋本行きバスで約 35 分
「工業技術センター前」バス停下車すぐ

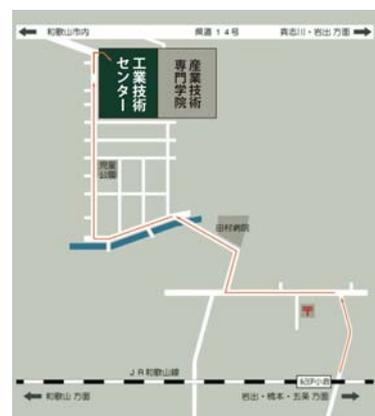
： JR 和歌山線「紀伊小倉駅」下車徒歩 10 分

H. P. : <http://www.wakayama-kg.go.jp/>

E-MAIL : wintec@wakayama-kg.go.jp



阪和自動車道「和歌山インターチェンジ」から、
県道14号を貴志川・岩出方面に向かって約8km



JR和歌山駅から和歌山線で
紀伊小倉駅まで約20分